

この本を薦めます

学会誌編集委員長 佐々木 葉

第5回



高橋 薫

土木学会調査役

今回は、自他ともに認める土木の応援団として土木学会100周年記念事業を担当する高橋さんに、視覚的作品をご紹介いただきました。

す でにご存知のように土木学会は来年に100周年を迎える。

そのための記念事業を推進するため、高橋さんは今年1月に学会に出向してこられた。大成建設では事務職を長く経験した後本社にて広報を担当する。「地図に残る仕事。」というコピーを使った宣伝や、プロジェクトを紹介する映画の制作、週刊誌のコラム連載などを手がけてきた。その過程で土木学会との縁が生じ、2007年から社会コミュニケーション委員会の活動に参加される。自ら会員となり、その持ち



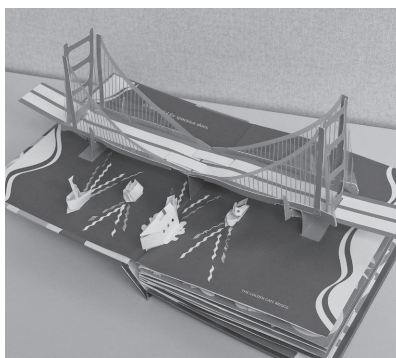
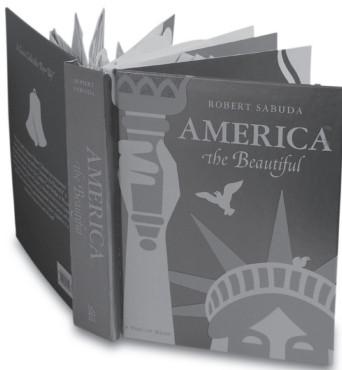
TAKAHASHI Kaoru

大成建設から2013年1月に土木学会に出向。100周年記念事業を担当。学会コピーに展示された勝間橋の図面のパネルをバックに。手にしているのは土木コレクションのパンフレット。

前の明るさと行動力で活躍。100周年記念事業準備にも関わり、ついに今年1月に学会へ出向する形となった。

さて、その高橋さんのお薦めは、通常の本ではなく、ビジュアルな素材である。それぞれに、何かをアピールする力と感動がある。いつもとは少しレアアウトを変えてご紹介する。

まず一冊目はロバート・サブダというアメリカ人による立体的絵本である。物語や恐竜などさまざまなテーマの絵本がある中で、土木の方々にお薦めしたい



ロバート・サブダ 「America the Beautiful」

のは、アメリカを紹介するもの。最初のページに出てくるのはゴールデンゲートブリッジである。サイドスパンにケープルがないのはご愛嬌として、アメリカという国への愛情と誇りを表現する素材としてます橋、そして建物や都市が選ばれていることが嬉しい。さて日本版をつくることしたら何をポップアップさせましょうか。

次の絵本は2005年の愛・地球博の北欧館で一目惚れした、きらびやかな表紙の「The Snow Queen」。アンデルセン生誕二百年を記念して、デンマーク女王自らが多種多様な絵画や写真をカラージュリアしたデコパージュを手が

けている。そこにはダイヤモンドなどの宝石がふんだんにあしらわれているのだが、これはもしかするとすべて本物？ 写真とはいえこの輝きはきつと



アンデルセン 「THE SNOW QUEEN / 雪の女王」 プチグラパブリッシング

そうに違いない。しかしそれが嫌みになつていないのは王女の品格のなせる技か。つまり、優れた素材がそれを扱うにふさわしい人の手にゆだねられたときに生まれる表現の力。そんなエネルギーをこの絵本から感じたという。

最後は、いまだ本にはなつていない素材をどうしても紹介したいと、土木コレクションの図面類を挙げていただいた。土木の日実行委員会が2008年からこつこつと整えてきたHANDSと題した歴史的建造物の図面類である。今年の学会誌の表紙の素材もここから紹介している。心血を注いで描かれた手描きの図面を初めて観たときには体に電流が走ったようだ。それらを100周年記念に本の形とする予定である。それを通してより多くの人たちに土木の仕事の本物の手触りに触れるきっかけをつくっていきなると高橋さんは熱く語られた。